

えひめ東予・せとうちイチハチ workcation

— 「18才」が地域をつなぐ観光まちづくり —



愛媛大学井口研究室

松下真佑・渡部美咲・岡本悠暉・岡野尚人・坂本夢衣
瀧田那月・後藤あゆみ・青木稜悟・池野桃華・中矢育



1 現状と課題

Regional issues

2 地域選定と分析

Analysis of target area

3 提案

Proposal

4 効果

Results

COVID-19 の拡大で “仕事と余暇の価値観” が大きく変化



ワーケーションの急拡大

2020 年はワーケーション元年といっても過言ではない

ワーケーションの多様化

仕事重視派
22.1%

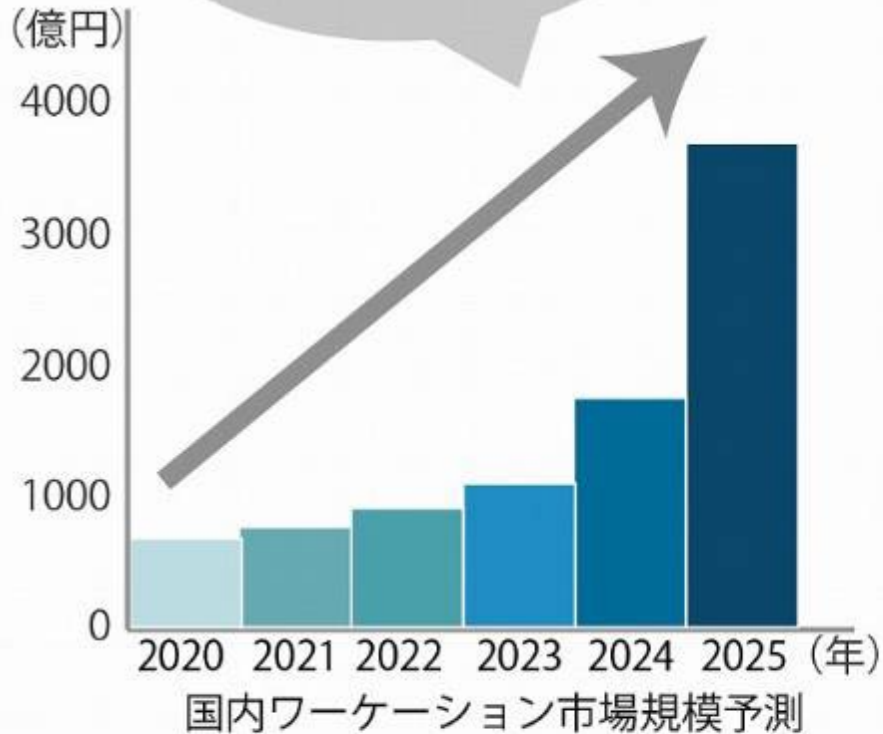
余暇重視派
21.3%

200自治体

1道22県 177市町村が
ワーケーションを導入

WAL 自治体参加数 (2021.10.12 時点)

約 3600 億円以上



ワーケーションブームは
今後も続く と予想

一方で…

ワーケーションを実施したい人 **57%**
ワーケーション経験者わずか **7%**

実施したい人は多いが、
経験者は少ない…

地方のワーケーションは類似事例が多く、 差別化が必要

全国のワーケーションを調査した結果…
4つの型に分類される！



リゾート型

有名観光地で
リゾート



都市部型

都市近郊で
近隣に観光地



企業誘致型

企業の
雇用創出



地方発展型

自治体主導
整備重視

地方発展型

…地方の自然豊かな環境を活かす

2020年には先進地域を追って、
地方発展型ワーケーションを行う地域が増加

増加傾向

地方発展型ワーケーションの主導は地方自治体

ワーケーションが普及し…
✓行政・地域も力を入れている

地方発展型が増加…
✓地域特性を活かした
取り組みを行う必要

ワーカー・企業双方に対してメリットが不明瞭であり、 ハードルが高い



ワーカーの課題

仕事と休暇の線引きが曖昧になる	67.4 %
仕事環境・通信環境に不安	37.7 %
仕事の関係者から理解が得にくい	19.0 %



企業の課題

労務管理が難しい	65.2 %
必要性を感じないから	55.0 %
生産性が落ちる	22.2 %

ワーケーションへの理解が
得られず…

✓ワーケーションに
取組みづらい現状

仕事の効率が下がるなど…

✓実施する価値を
見いだせない

自治体が推進するワーケーションの多くが 短期間滞在+主要観光地の詰め込み

ワーケーションのスケジュール例

	1日目	2日目	3日目
7:00		起床	起床
10:30	羽田空港発 南紀白浜空港着	熊野古道散策	仕事
13:00	昼食 (すさみ町)	昼食 (那智勝浦町)	昼食 (白浜町)
15:00	アドベンチャー ワールド散策	仕事	農業体験 in 白浜町
17:00	仕事		崎の湯散策
21:00	夕食	夕食	羽田空港発 南紀白浜空港着

短期間滞在のため…

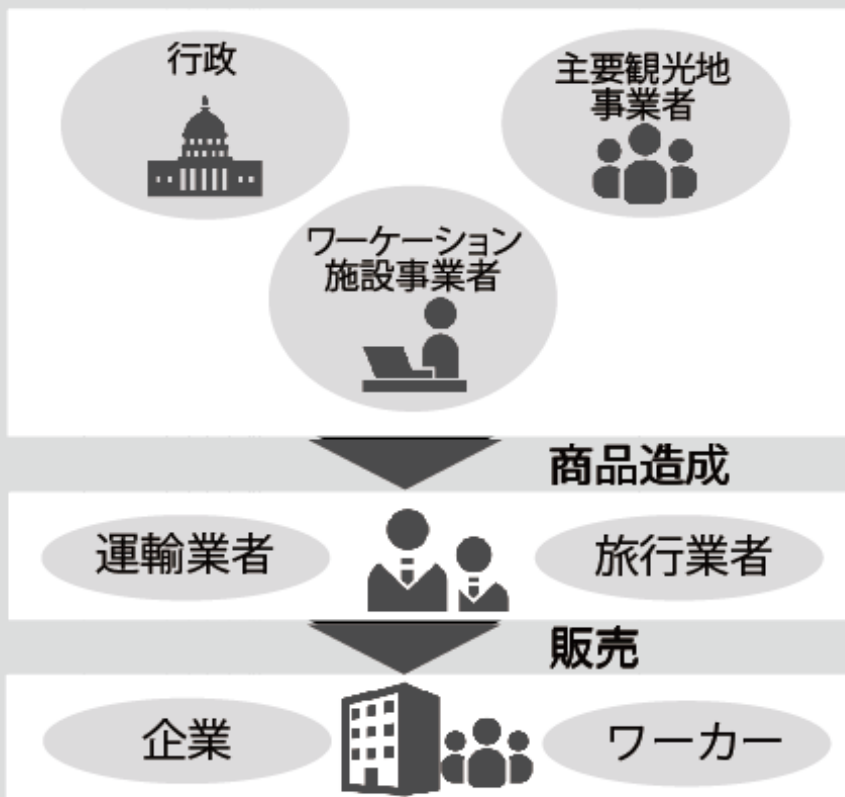
✓地域の主要観光地
しか訪れることが
不可能

日程がハードなうえ、
余暇重視のため…

✓仕事に支障

地域のステークホルダー・地域住民を 十分に巻き込めていない！

従来のワーケーション事例



地域内のワーケーション施設を利用しているのに…

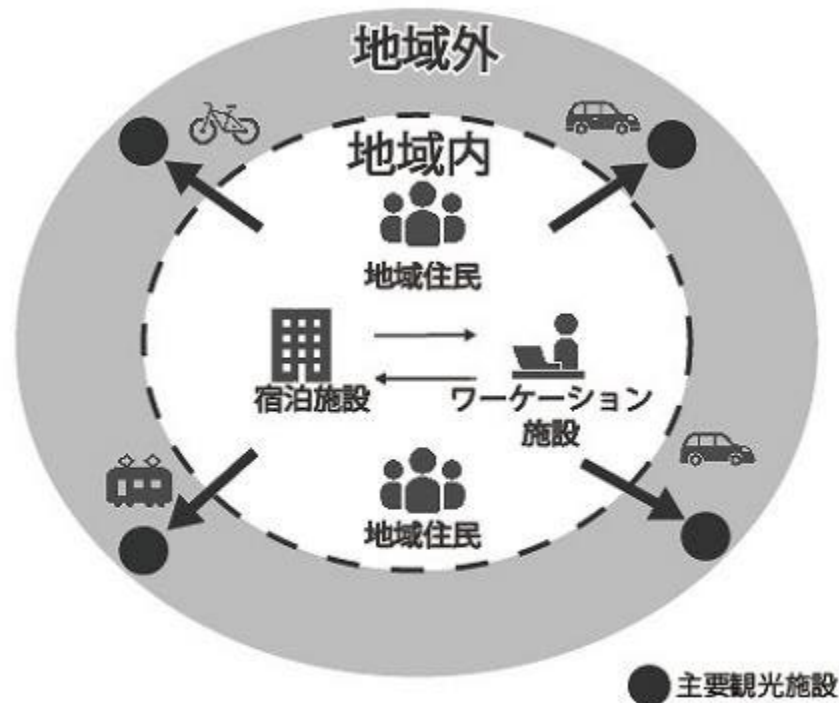
✓ 地域住民が不在、
交流がない

地域の人材や資源を
有効活用できず…

✓ 観光まちづくりと
連動できていない

一般的なワーケーション事例では 地域になかなかお金が落ちない！

一般的なワーケーション事例



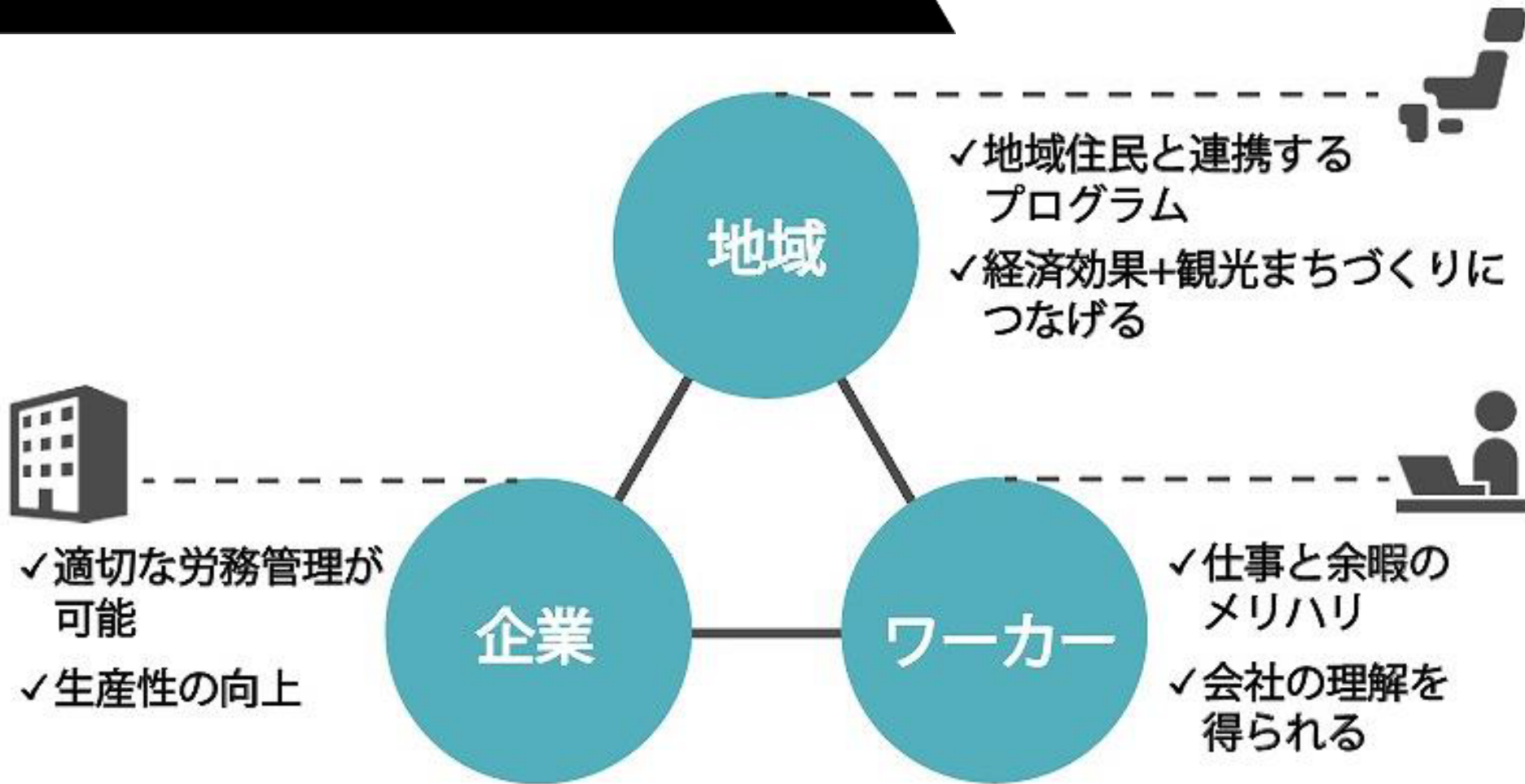
地域の商店・飲食業・商店街…

✓ 小さな事業者との
連携が無い

地域内に経済効果を生む
仕組みが無く…

✓ 観光振興に
つながらない

課題を踏まえた目指すべき
ワーケーション



それぞれの課題解決による三方良しのワーケーションの実現が

地域の観光まちづくりにつながる



1

現状と課題

Regional issues

2

地域選定と分析

Analysis of target area

3

提案

Proposal

4

効果

Results



瀬戸内にある
東予地方に注目します!



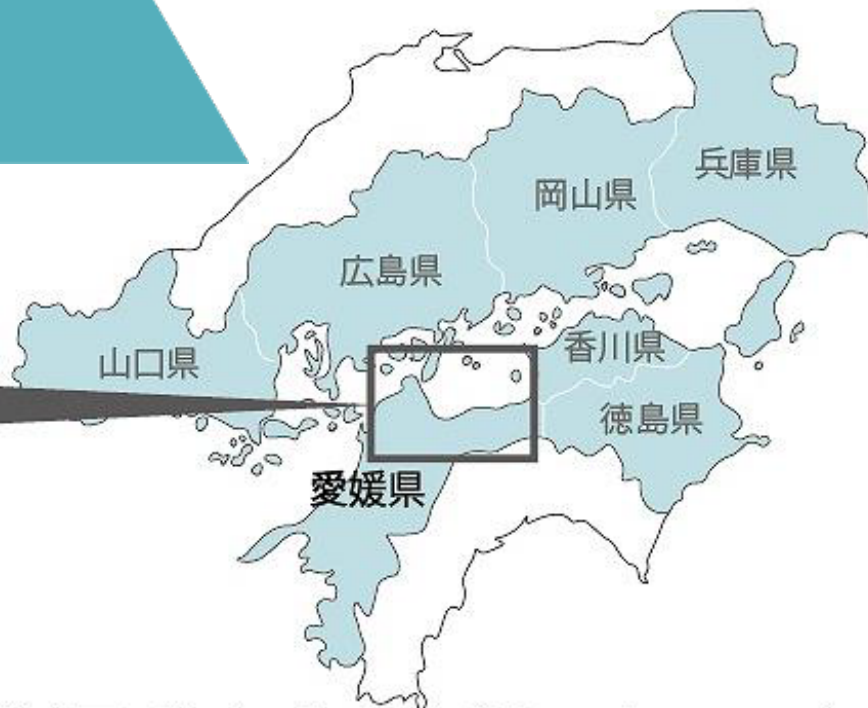
米紙ニューヨークタイムズ発表「2019年に行くべき52カ所」

7位 (日本で唯一のランクイン)

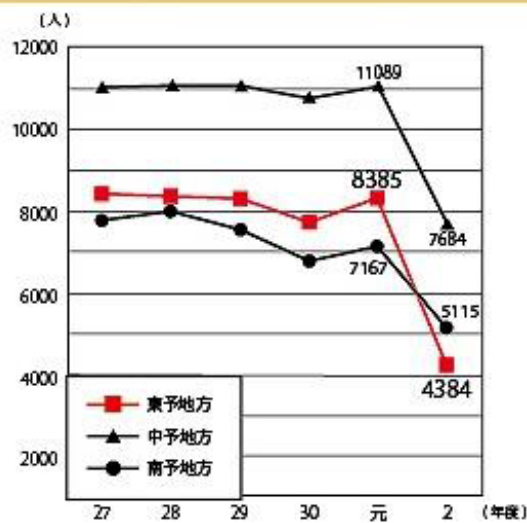
確かな
“瀬戸内”の
ブランドカ



東予地方における観光課題



瀬戸内ブランドのある観光資源が十分に活かせていない



愛媛県庁 (2020) 「観光客数とその消費額」

東予地方は、主要観光施設の上位 10 位だけで
全観光入込客数の **71%** を占める
2020 年の入込客数減少率は **40%**
県全域で最も高い減少率である

東予地方の観光振興は、瀬戸内のブランド力を
点から面に広げること

東予地方における地域課題

人口減少



平成 29 年前年度比市町村別人口増減率

5 自治体全て減少

少子高齢化

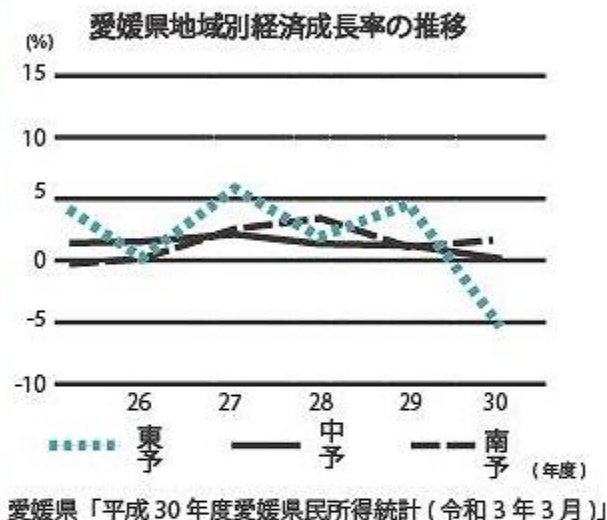
東予地方の高齢化率

34%

令和 3 年度愛媛県人口統計データ

全国高齢化率 28%を大きく上回る

経済成長率の低下



県内の中で
経済成長率が最も減少

東予の観光まちづくりには、人口問題や地域経済振興に貢献できるものが必要

瀬戸内ブランドを活かして地域課題解決の糸口に！

東予地方の認知度の高い瀬戸内ブランド資源



注目

ワーケーションしてみたい
国内スポット

瀬戸内海・しまなみ海道

全国第 9 位

上位の多くは国内主要観光地
(認知度の高い観光地) である

瀬戸内ブランドを
ワーケーションの
訴求力・誘客力につなげる

東予地方は工業都市かつ県内有数の農村地域



注目

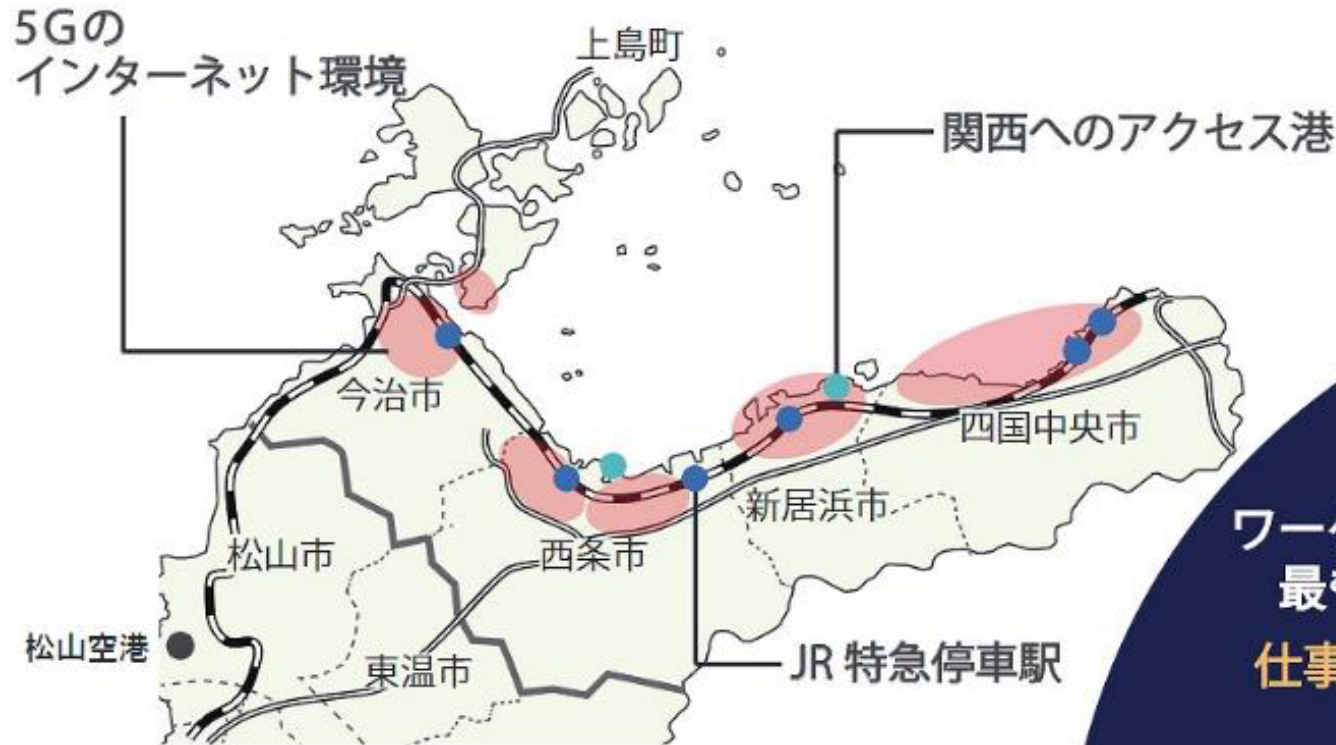
ワーケーションをするなら
どんな場所に行きたいか
のどかな田舎町（農村）

62.8%

仕事に集中できる静かな場所が
選ばれやすい傾向にある

農村と資源を
ワーケーションで活用

東予地方は工業都市であるためインフラ整備の充実



注目

ワーケーション先を選ぶ時
最も重視するポイント
仕事環境の整った滞在先

62%

通信環境やアクセスの良い地域が
ワーケーション先として選ばれる

快適に働ける環境により
ワーケーションの有力候補地に



東予地方はワーケーション施設の整備が進み
地域からの理解が得やすい

以上4つの
強み

1

認知度の高い
瀬戸内ブランド資源

2

県内有数の
農村地域

3

充実した
インフラ整備

4

地域のワーケー
ションへの理解

東予地方の課題解決をするワーケーションを提案！



1

現状と課題

Regional issues

2

地域選定と分析

Analysis of target area

3

提案

Proposal

4

効果

Results

そこで、今回提案するのは…



せとうちイチハチworkcation

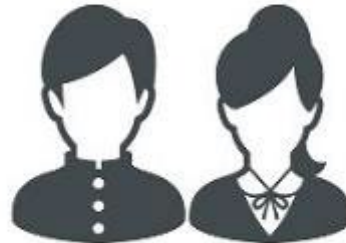
瀬戸内の東予地方 5 市町でワーカーが 18 才とプログラムを
通して連携し、18 才のあの頃に戻って旅するワーケーション

経験したことが
将来の考え方・行動に
つながる重要な年齢

18才は、重要なエントリーポイント

ワーカーが当時を思い出し
自分の仕事・暮らし・人生を
見つめ直す

地域の役に立ちたい
仕事がしたい



どんな大人になる？
こんな社会人になりたい

一方で...

重要

地域にとって

- ・まちづくりの担い手の育成
- ・人口流出の問題解決

企業にとって

- ・ターゲット市場であるZ世代(高校生)と家族へのニーズ調査
- ・新たなアイデア、発想

重要

実施場所：東予地方5自治体から一つを選択

(上島町、今治市、西条市、新居浜市、四国中央市)

新しい
4つの特徴

期間：2週間から

予算：264,000円から

(内訳：食費、宿泊費、遊興費、諸経費等)

Point 1

ワーキング施設

ワーキング施設
は高校

Point 2

働く時間

高校の時間割式
ワークタイムを
導入

Point 3

プログラム

18才(高校生)との
交流プログラム

Point 4

余暇のあり方

平日 13:30 から
のローカル
バケーション

特徴 1

ワーケーションの拠点として 高校の遊休施設を活用

※不可能な場合は、近隣の廃校等を活用

地域の中心である
高校を拠点に！



▲ワーケーションエリア

高校の通学圏を
ワーケーションエリア
として想定

ワーカーと高校生の交流の場としての機能を持ち、
学校教育支援・地域資源の活用にもつながる！

特徴2

せとうちイチハチ workcationとは

ワーケーションに高校の時間割を取り入れ、
50分のワーク + 10分の休憩 × 6 (5h労働)



最適なリズムによって、仕事の効率を上げる

※上の記働くリズムが身についたら、裁量労働に切り替えることも可能!

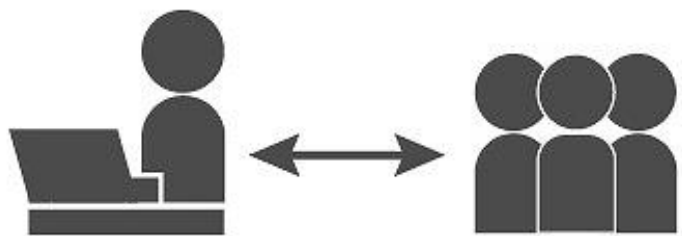
特徴3

せとうちイチハチ workcationとは

18才との交流・連携プログラムを実施

仕事の時間に

課題解決型プログラム



ワーカー

高校生

双方の課題解決を目指す授業を実施

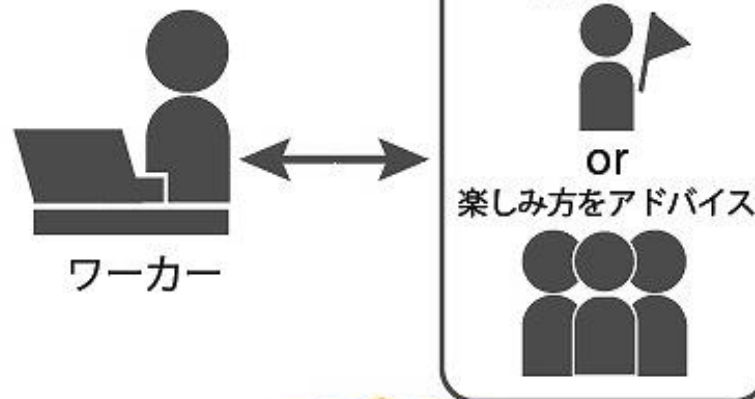
市場調査
社内研修



総合学習
キャリア学習

余暇の時間に

ローカル体験プログラム



ワーカー

観光ガイド



or

楽しみ方をアドバイス



高校生

地域特有の
余暇を体験

特徴4

せとうちイチハチ workcationとは

平日 13:30 からは
その地域でしかできない余暇を満喫

楽しみ方をアドバイス

防波堤で見る
夕日が綺麗

優しい夫婦の
定食屋さん

島を一望できる
ジャングルジム

東予地方に住む高校生でなければ
知らない場所・人に出会える



高校生

※観光ガイドも可能

Web サイトで公開



ワーカー

生活圏内で心身ともにリラックス、
翌日の仕事に支障がでない余暇を提供

特徴 4 をもっと
詳しく紹介！

地域の楽しみ方をたくさんアドバイス
してくれるのは高校生の皆さんです！

川之江商店街

レトロな商店街を
散策

出典: <http://tamagazou.machinami.net/kawancee.htm>

高台にある公園

高台のビュー
スポットまで
お散歩

島を巡って
自然や歴史を堪能

港周辺を遊覧

©2021 Ehime University

産業遺産を
巡る

煙突山

自転車道



サイクリングで
リフレッシュ

農村風景

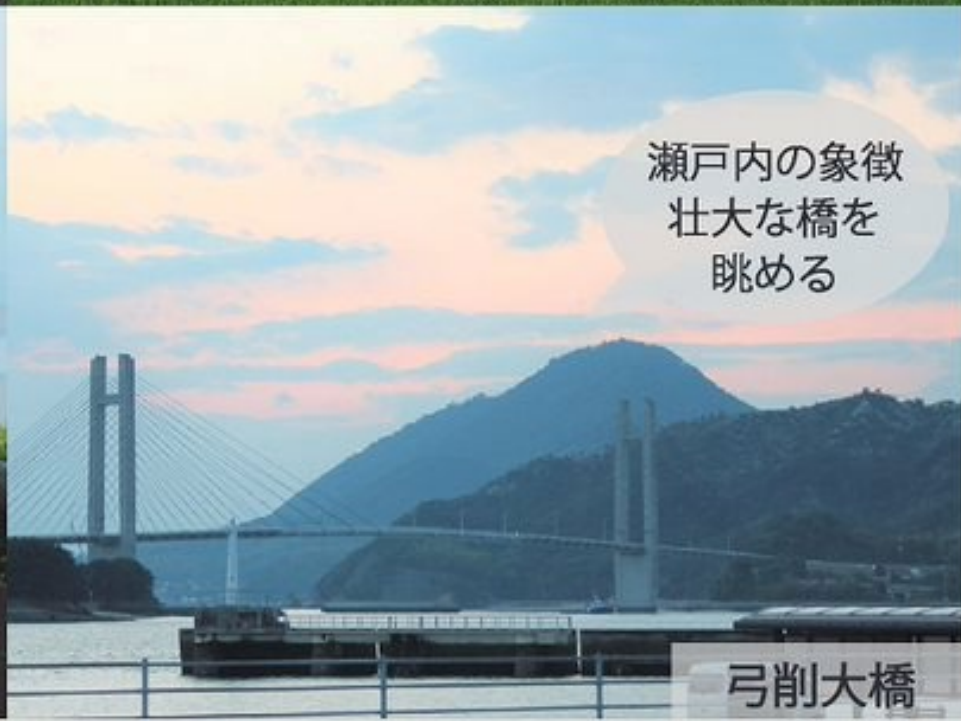


うちぬきが
育む風景を満喫



ベンチから見る
ひうち灘の景色

川之江城



瀬戸内の象徴
壮大な橋を
眺める

弓削大橋

一方、休日の余暇では…



平日の余暇では体験できない
サイクリングや登山などしっかりと
体を動かす **アクティビティ重視**
の余暇



仕事に支障がない土日
拠点地域から出て
東予地方の主要観光地
を楽しむ！

せとうちイチハチworkcation 余暇の過ごし方in大三島の事例

地域の柑橘を活かした



島香房の地場商品

通学路から見える夕日



高校



獣害対策につながる



猪骨ラーメン 友達の家からの帰り道



海へと伸びる野々江坂

平日は高校生が教えてくれた
おすすめの場所で
気分をリフレッシュ！

別子銅山



土日は東予地方の
有名な観光地へ足を延ばして
休日を満喫！



長距離サイクリング



このワーケーション、
どうやって運営していく？
~~~~~

# ワーケーションの運営団体

ワーカーと地域をつなぐため

## NPO 団体 “イチハチ workcation 協会 (仮)” を設立



東予地方のステークホルダーをつなぎ、地域と共に創るワーケーション

NPO 団体を構成する

# コーディネーターを東予地方各地に設置

CNを設置することでワーカーの広域ワーケーションも可能に



CNは、各地の地域おこし協力隊や、まちづくり協議会の方を想定

今回のワーケーションのみならず、その他のまちづくりの取り組みにも  
活用が可能な地域ネットワークを構築

# 高校生 (Z 世代) が教えてくれた地域の新しい魅力を発信 ポータルサイトをつくります

## 情報提供

- ✓せとうち東予地域の紹介
- ✓ローカルワーケーションエリア選択
- ✓受け入れ拠点協力学校
- ✓ワーク・余暇プログラム
- ✓各地域の飲食店 MAP
- ✓高校生のバーチャルガイド

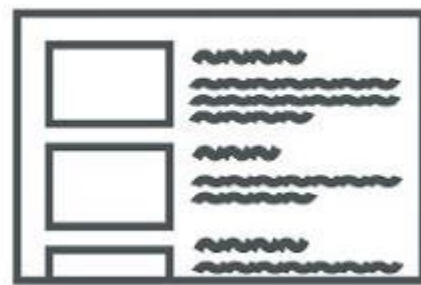
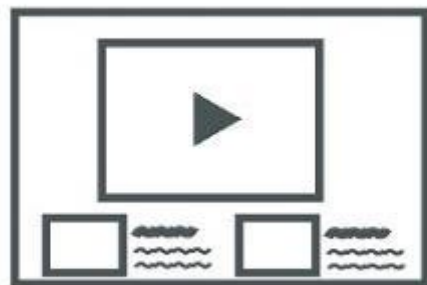
## もちろん

- ✓高校生連携プロジェクトの案内！
- ✓ワーケーションプランの販売！

買う

知る

食べる



# サイトイメージ



せとうち東予地域の紹介

ローカル  
ワーケーション  
エリア選択

受け入れ拠点  
協力学校

ワーク  
プログラム

余暇  
プログラム

各地域の  
飲食店 MAP



## 高校生のふるさとに対する “まなざし” や “想い” をPRに活用



平日の中にある地域にしかできない余暇を提案！

作成したコンテンツは Web サイト上に集約



# 経済効果：せとうちイチハチworkcation だからできること

ターゲットにするのは

実施済み企業  
50万社 (13%)

導入可能だが  
未実施企業  
260万社 (69%)

導入が困難な企業  
70万社 (18%)

日本企業数約 380万社

ココ!  
ワーケーションの  
導入を躊躇している  
企業

利用想定

260万社中の0.1%として  
**2,600社**

1社3名参加で

**7,800人**

1人当たりの消費額

- (1) 宿泊：4,000円 × 13泊 = 52,000円  
飲食：4,500円 × 14日 = 63,000円  
買い物（土産込み）：40,000円
- (2) 域外レジャー（休日4日分）：30,000円
- (3) NPOのコーディネーター料：50,000円  
※一部は各自治体のまちづくりに活用  
東予未来人材育成協力金：29,000円  
※学校施設利用に対するの協力金  
高校生のチャレンジプロジェクト支援に活用  
※ (3)は全体の30%換算

合計 264,000円(税込)

(1) 地域内への効果 … 155,000円 × 7,800人 = **12億円**

(2) 地域外への効果 … 30,000円 × 7,800人 = **2億3千万円**

(3) まちづくりへの還元 … 79,000円 × 7,800人 = **6億1千万円**

5自治体の年間経済効果は

**20億4千万円**



新規性：せとうちイチハチworkcation  
だからできること

新規性

地域の課題 **1**

差別化に対して  
「地域らしさ」で解決

新規性  
**1**

働き方

朝活志向・  
高校の時間割式ワーク  
タイムの導入へ

企業への理解度 UP！  
唯一無二のworkcation商品

新規性  
**2**

余暇のあり方

平日 13:00 からの  
ローカルバケーション

仕事と余暇の圧倒的なメリハリ！  
地元高校生が紹介する新しい観光スポット

新規性  
**3**

企業への+α

18才との交流・連携  
プログラムを実施

Z世代との交流を企業メリットに！  
高校は新たな教育チャンス！

新規性  
**4**

地域の体制づくり

拠点として  
高校の遊休施設を活用

新規性  
**5**

workcation  
コーディネートに  
まちづくり型 NPO を設立

workcation × 観光まちづくり 新しいカタチ

ターゲット企業が納得できる  
workcationの仕組み

企業側の  
躊躇の原因

導入することで

- ✓仕事と休暇の線引きが曖昧
- ✓労務管理が難しい

50分ワーク・10分休憩の高校の時間割式ワークタイムを導入  
**仕事と余暇にメリハリがある環境を提供**

- ✓仕事・通信環境に不安

COVID19禍で最も通信環境の整備が進んだ教育施設を拠点に  
**快適に働ける環境で仕事が可能**

- ✓仕事効率の低下

朝活～13:30までしっかり働き、のんびり余暇を楽しめる  
**最適なリズムによる仕事効率の向上**

- ✓必要性を感じない

高校生との交流により新しい発想やニーズ・市場調査が可能  
**企業のビジネスチャンスを提供**

**企業のワーケーションへの理解を得るアイデアが  
東予地方の観光まちづくりにもつながる**

地域の課題 **2,3,4** に  
対する解決の糸口を！

課題

導入することで

**2** 主要観光地の  
詰め込みプラン

**4** 地域にお金が  
落ちない

**3** 地域の  
巻き込みが  
不十分

直接的効果

遊休施設・未発掘の地域資源の利用により

**観光資源の再評価**

**Z世代が見た新たな観光スポットの発掘**

**平日における消費活動の増加**

地域の商店街や商店、飲食店への利益の還元

間接的効果

地域のステークホルダーや地域住民、ワーカーの交流増

**まちづくり / 関係人口・交流人口へ**

ローカルスケールのワーケーション組織による

**高校生のキャリア支援 (Uターン・流出対策)**

**東予地方において持続性のある観光まちづくりの実現**

現在、多くの高校生は修学旅行・インターン・留学などの機会を失い  
様々な社会と交流する場も失っている

ニューノーマル時代の

## マイクロツーリズム

高校生こそ 次世代型観光 の担い手

地域資源の利活用

だからこそ、今  
高校生の体験や経験を  
観光振興と連動させていく必要性がある

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東予で「18才」に戻れるワーケーション  
上質なワークと特別なバケーションを通して  
「新しい観光まちづくり」の持続的な実現へ



Special Thanks !

今治市・新居浜市・西条市・上島町・四国中央市の高校生・先生、  
5自治体の地域住民の皆様、東予地方局の皆様